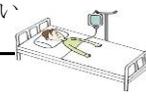


フェーズ	入院日数	1日目	2日目	3～5日目	7～8日目	
	入院日（手術前日）	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2～4日目	術後6～7日目
達成目標	・手術について家族と共に理解し、同意している	・手術の準備が整っている	・創部の異常がない ・痛みをコントロールして安楽に過ごせる	・痛みがコントロールできトイレまで歩行できる ・腹部症状なく食事が開始となる	・創部に発赤等異常がなく過ごせる	・退院後の生活に自信が持てる
記録						
医師指示						
観察 ・モニター			・朝まで心電図モニター、血圧を定期的に測定します ・酸素吸入をします（ / 時 分迄）			
検査	・心電図・血液検査・尿検査を行います 			・朝6時頃に血液検査をします		
画像診断	・腹部、胸部レントゲン・腹部CTなど行います			・午前中にレントゲン撮影があります（胸部・腹部）		
内服・外用	・今飲んでいる内服薬の確認させていただきます ・寝る前に下剤・眠剤を飲みいただきます	・朝食をします				
注射		・点滴をします 				
治療・手術 ・リハビリ	・痛みや吐気に対してお薬が使えます	・手術をします 	・弾性ストッキングを装着します	・傷の消毒をします ・歩き始めたら弾性ストッキングを除けます		・半分抜糸をします ・翌日残りの半分を抜糸します（ / 予定）
活動・清潔	・必要時 爪切り 膣処置をします その後シャワー浴をします		・病室に帰室後は安静に休んで下さい 	・身体を拭きます ・歩行できます 	・制限はありません	・許可があればシャワー浴ができます
食事・栄養	・（ : ）から絶飲食です 			・お腹の動きがよければ食事開始となります（5分粥、全粥、常食と1食ずつ上がっていきます）		
教育・指導	・医師より手術についての説明があります ・麻酔医が診察に来ます ・看護師より入院と手術に必要な物品などの説明があります T字帯 バスタオル 腹帯 など	・手術室に行く前に排尿をすまして下さい（ 時頃）	・手術の結果をご家族に説明いたします ・手術の結果、炎症が強い腹部に管が入る事があります ・必要時尿の管が入る事があります ・許可があれば水が飲めます	・痛みや吐き気などあれば申し出てください 	・抗生剤の点滴、又は飲み薬がでます ・便秘をしないようにしましょう ・便通が悪いようならば申し出てください	・退院後の生活について ・傷口を濡らさないように保護してください ・お腹が痛い、発熱など異変があれば病院に受診してください ・仕事については医師に相談してください ・薬剤師より服薬指導があります ・栄養士より栄養指導があります

*病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 *入院期間については、現時点で予想されるものです。